

さまざまな災害に立ち向かう消防隊

発生する災害はさらに複雑に、そして多様化しています。
あらゆる災害に対応し、都民の安全・安心を守るため、東京消防庁では、最新鋭の消防車両や装備を備え、日々訓練を重ねています。



救急出場ひっ迫時の対応

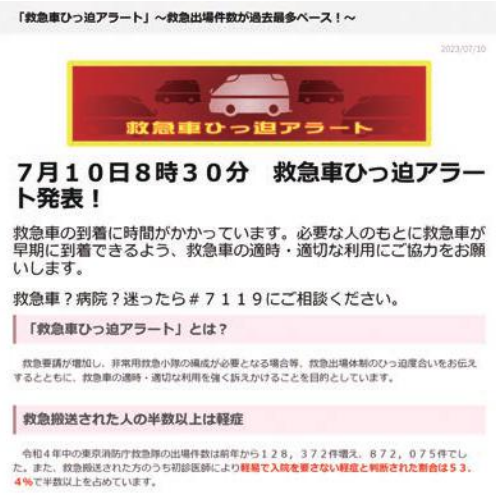
令和5年の夏は、連日の猛暑により熱中症の救急搬送が相次ぐなど、救急出場が多い状態が続きました。当庁では、このようなひっ迫する現場の状況を受けて、臨時の救急車を増強して出場させるなど、全庁を挙げて対応しました。
また、当庁ホームページやSNSを活用して、救急車の適時・適切な利用を広く周知しました。



▲現場へ出場する救急隊



▲救急出場ひっ迫時の指令室の様子



▲「救急車ひっ迫アラート」特設ページ



▲キュータが動画で熱中症対策を呼び掛ける



▲X(旧Twitter)の投稿

救急隊を増隊

増加する救急需要に対応するため、24時間運用する救急隊3隊、日中の時間帯に運用するデイトタイム救急隊4隊を増隊しました。



▲現場に到着する救急隊



▲救急隊の活動訓練

令和5年10月運用開始：救急隊(赤羽署志茂出張所、小平署花小金井出張所、国分寺署)デイトタイム救急隊(成城署、向島署、八王子署、町田署)